

保護者アンケート結果（押沢台小学校）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり保護者の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年5月19日（月）から6月6日（金）まで	
対象者	押沢台小学校に通っている児童の保護者	坂下、藤山台、高森台、石尾台、岩成台中学校区内の公私立保育園、私立幼稚園の園児のうち、押沢台小学校に通学する予定の園児の保護者
実施手法	学校から保護者への連絡システム「Home&School」から回答	各園から保護者への連絡システム又はQRコード付きチラシから回答
児童数	193 人	—
Home&School 通知数	270 人	—
回答数	94 人	38 人
回答率	34.8%	—

◆報告書に使用されている略語の説明

- ・「全体」は、「就学」と「未就学」の回答の合計
- ・「就学」は、押沢台小学校に通っている児童の保護者の回答
- ・「未就学」は、坂下、藤山台、高森台、石尾台、岩成台中学校区内の公私立保育園、私立幼稚園の園児のうち、押沢台小学校に通学する予定の園児の保護者の回答

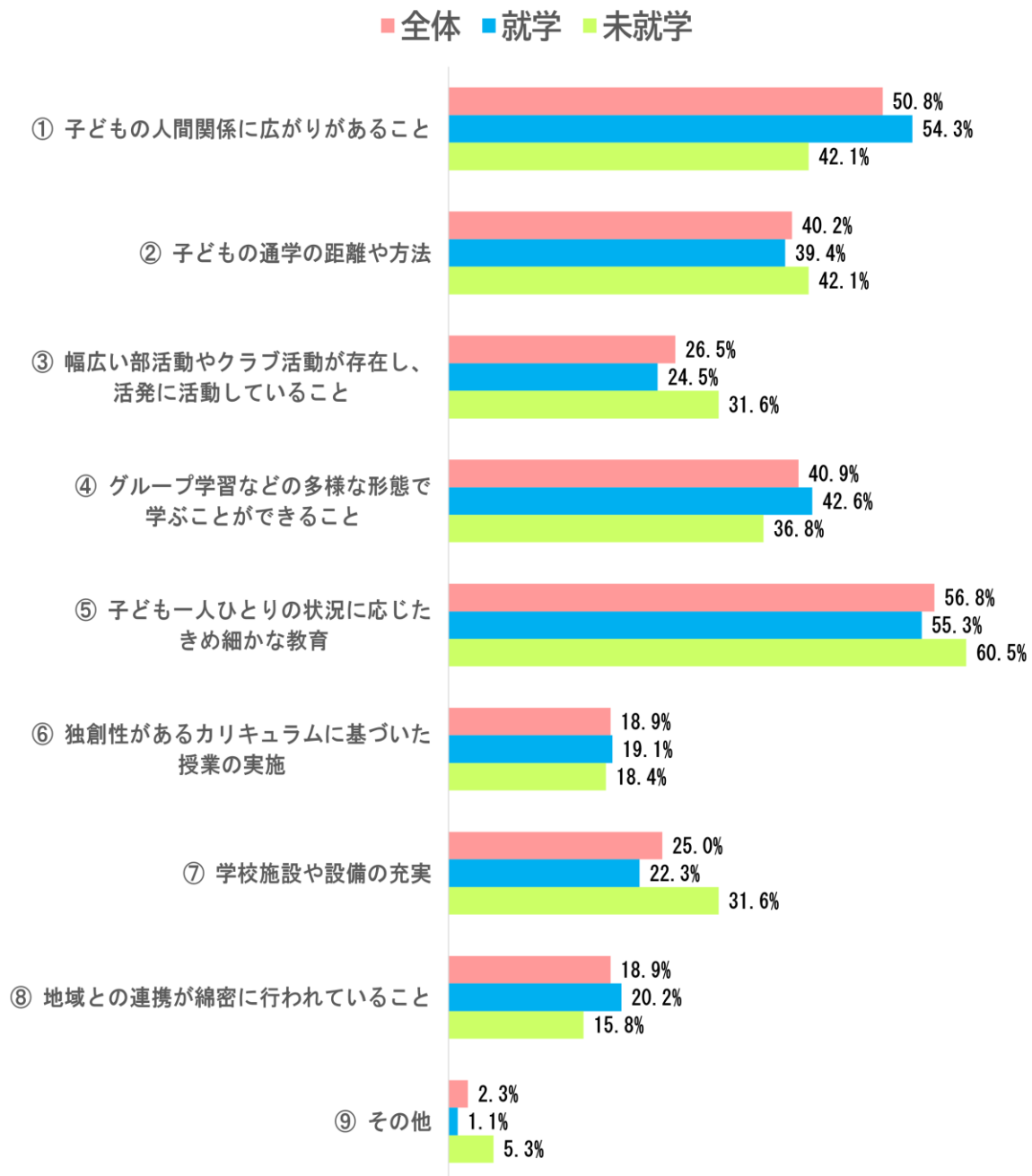
子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3 つまで)

●回答結果の概要

選択項目⑤、①、④の順で選ばれています。

回答した保護者の多くが、生徒たちに個別最適な学習が提供されること、学校生活での人間関係が充実していること、グループ学習などの多様な形態で学ぶことができることを学校に期待しています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



1 「⑨ その他」の回答

◆就学児

- ・学校が安心して通える場所であること。

◆未就学児

- ・子どもが増えるような魅力ある政策を期待します。子どもが減り統合せざるおえない状況は理解しますが子どもに負担のないようにしていただきたいと思います。
- ・防犯体制が充実していること。

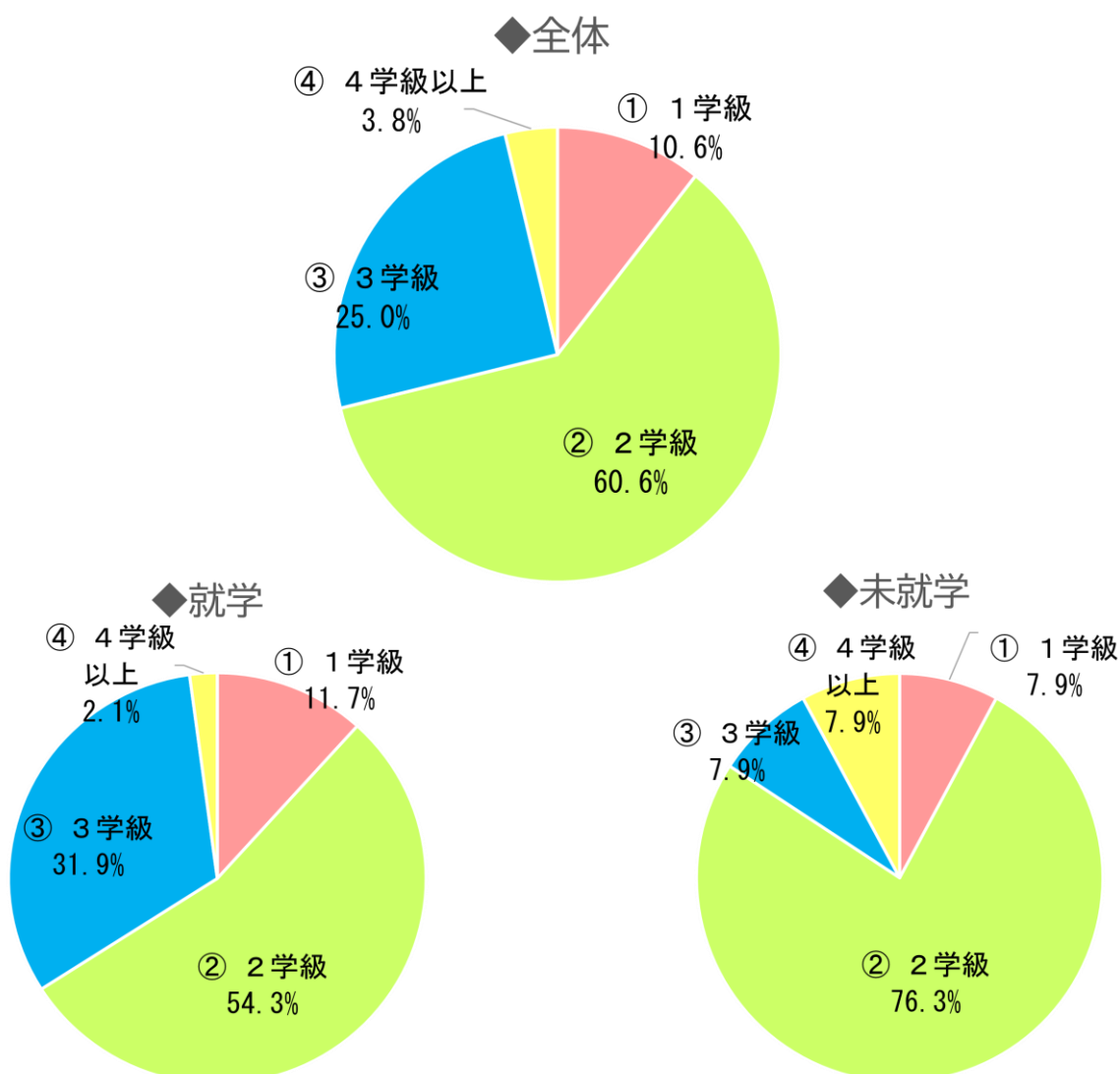
2

1学年当たりの学級数は何学級が望ましいと思いますか。次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

押沢台小は現在、1年生及び3年生が2学級、2年生及び4年生から6年生が1学級です。保護者の89.4%が複数学級を望ましいと考えており、「② 2学級」を望む割合が一番高くなっています。

保護者アンケート結果(対象17校の集計)と比較すると、複数学級を希望する傾向は同じですが、②の割合が高くなっています。



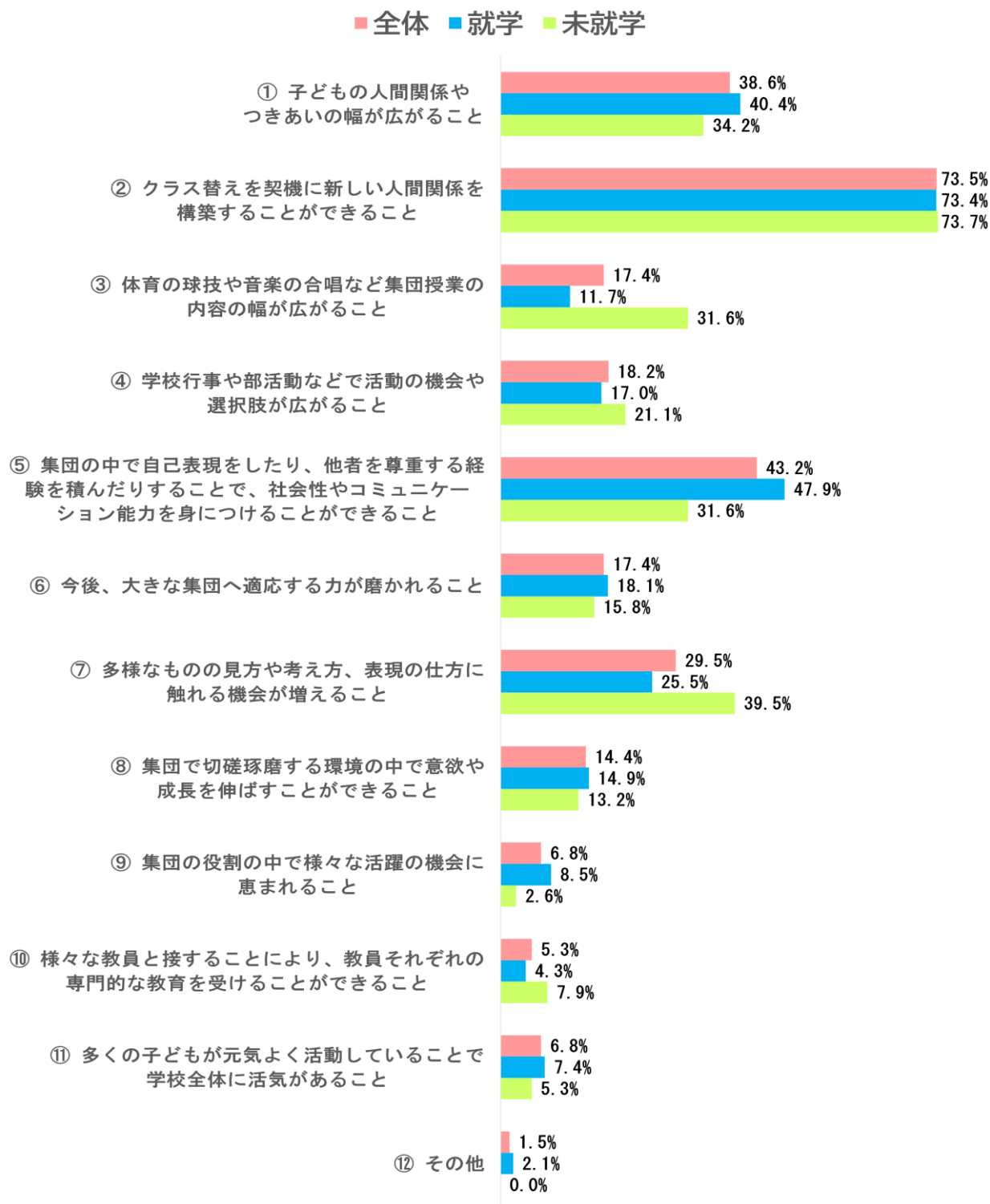
各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じることにについて、次の項目から選択してください。
(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目②、⑤、①の順で選ばれています。

回答した保護者の多くは、1学年あたりの学級数が多いことが、子どもたちの人間関係に好影響を与えるとともに、多くの同級生と関わることで社会性やコミュニケーション能力を身に付けることができると考えています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、①の割合が低くなっています。



3 「⑫ その他」の回答

◆就学児

- ・ いじめや苦手な子と離れることで学校へ行く気持ちになれる、楽しく行ける。
- ・ 学級数が多い事にメリットは特にはない。

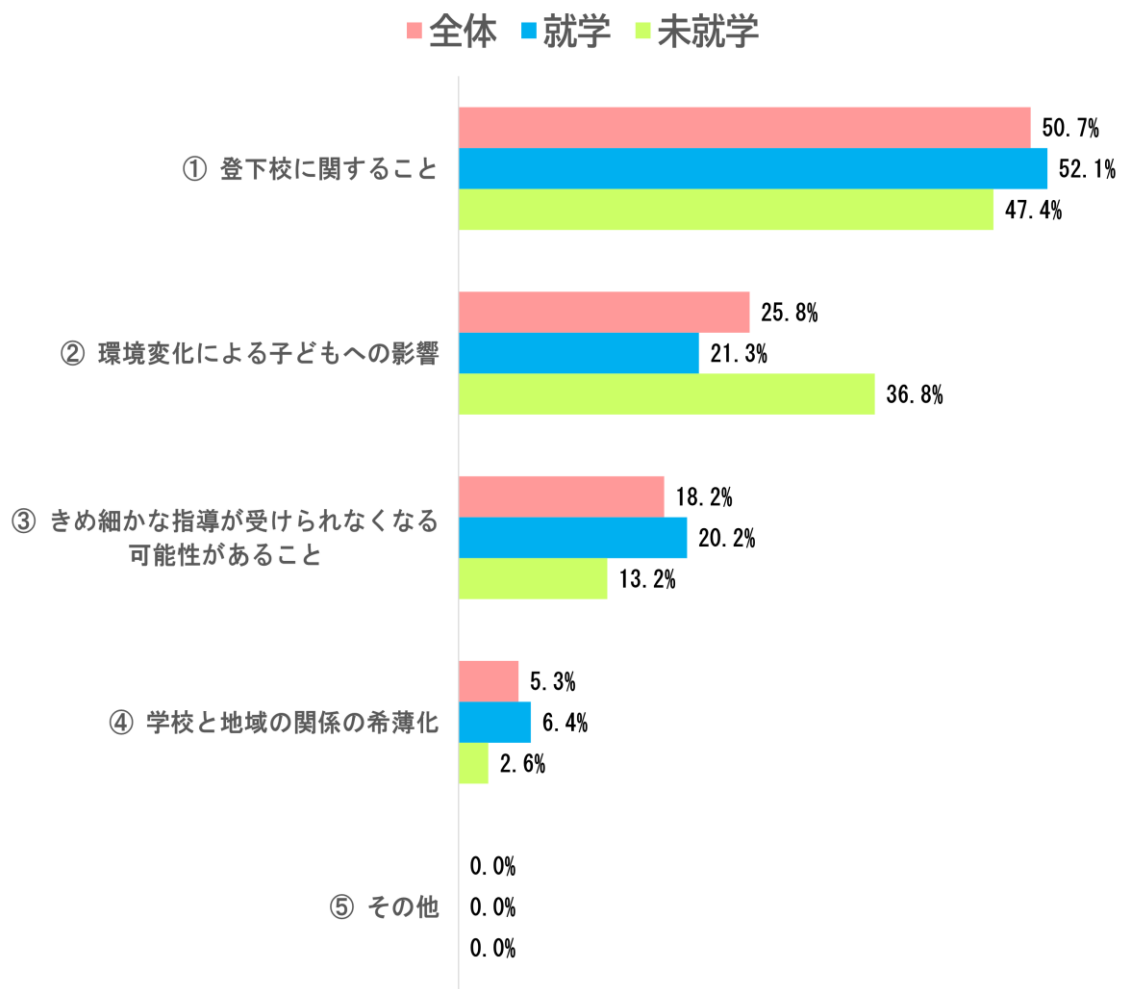
4

魅力ある学校づくりのために、学校の規模や配置を見直す場合、心配なことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

学校の規模や配置を見直す場合、通学路の変更や通学距離の延長の可能性が考えられることから、50.7%の方が「① 登下校に関すること」が心配と感じています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。

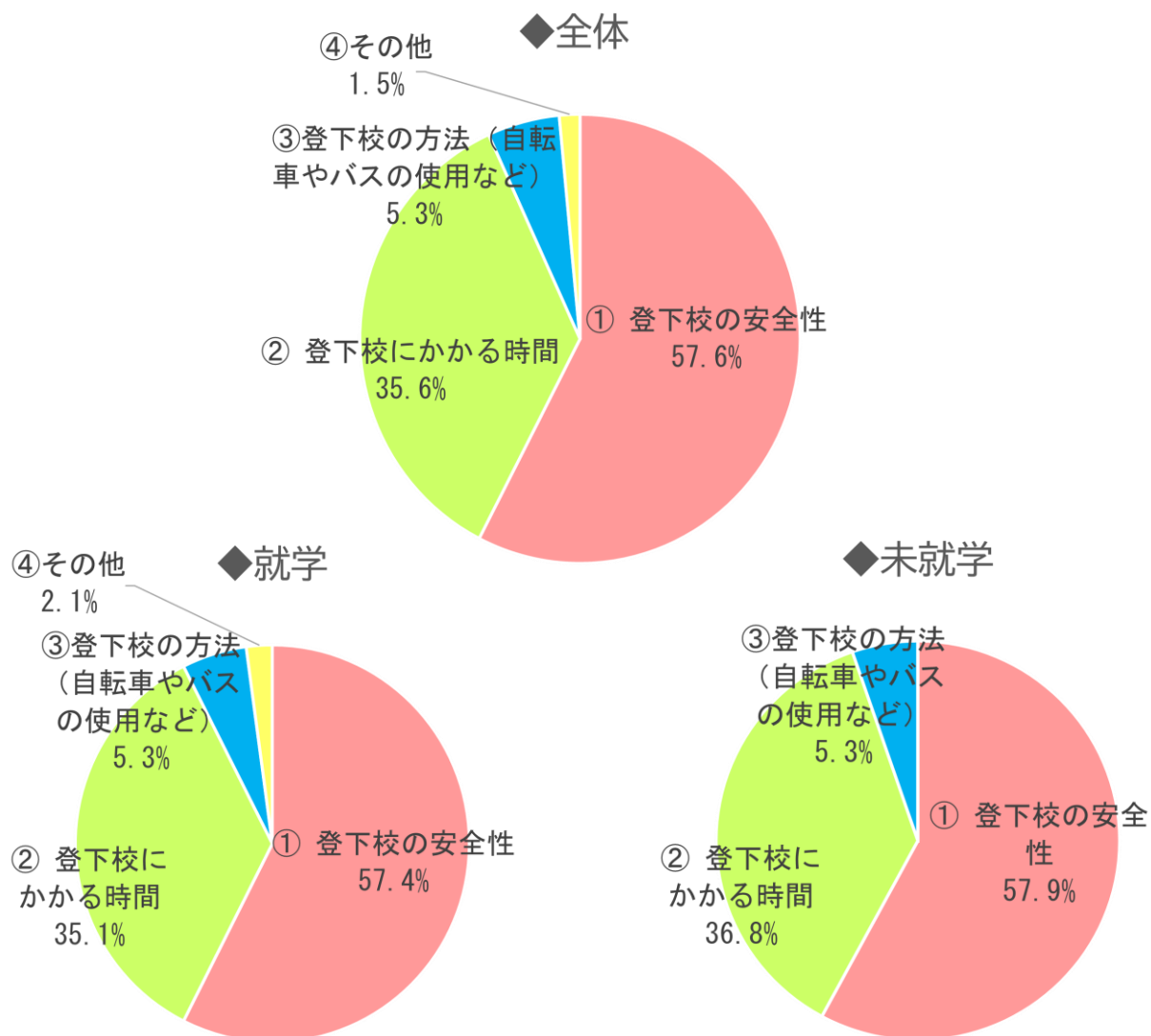


学校の規模や配置を見直す場合、登下校に関して最も重要だと思うことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

57.6%の方が「① 登下校の安全性」を最も重要と考えています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



「④ その他」の回答

◆就学児

- ・荷物が重く負担が大きいため②③の両方。
- ・教員の働き方改革で登校時間が遅くなりました。そのことで朝の登校時の鍵っ子が増えていると聞きます。学校に着いたかわかる方法があると良いのと思います。

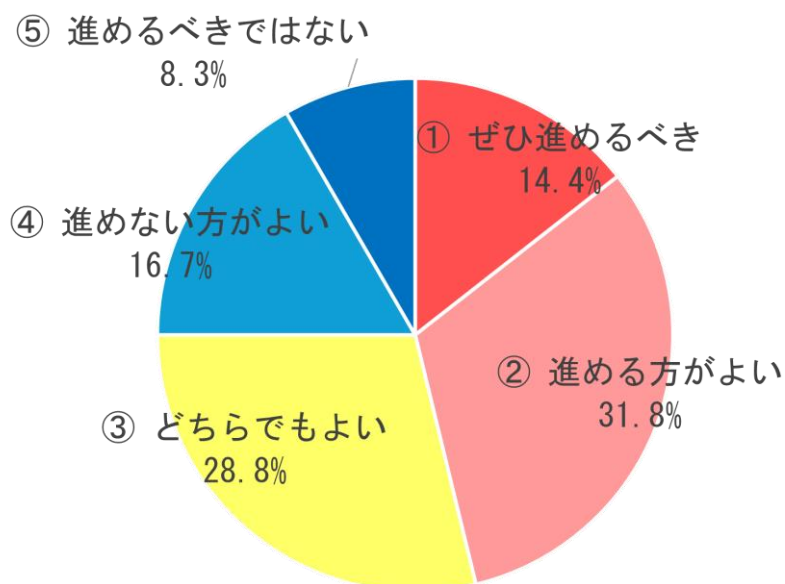
市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

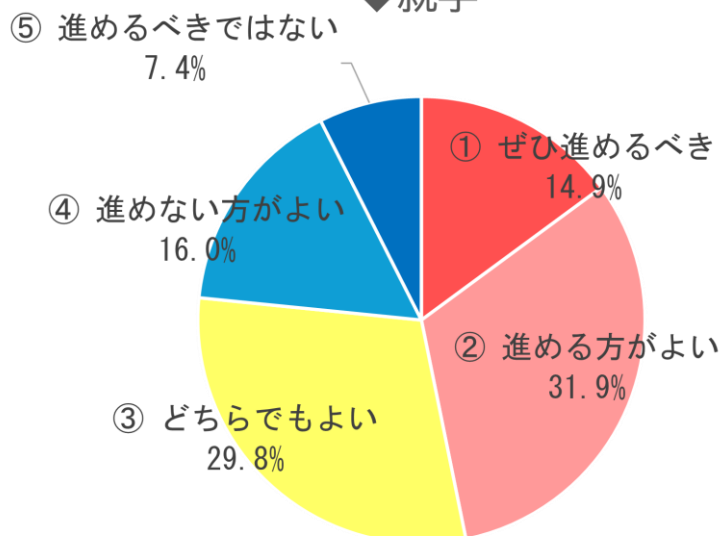
46.2%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

①又は②を選んだ割合は、アンケート対象の小中学校 17 校の中では3番目に低く、④又は⑤を選んだ割合は 25.0%で2番目に高い比率となっています。

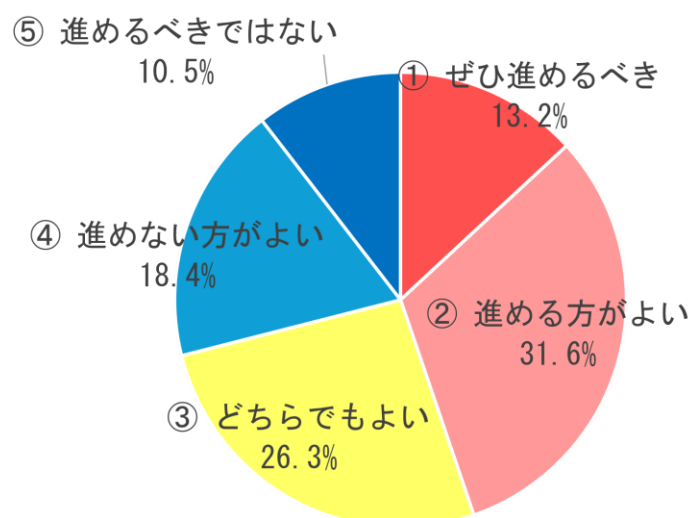
◆全体



◆就学



◆未就学



6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。押沢台小学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

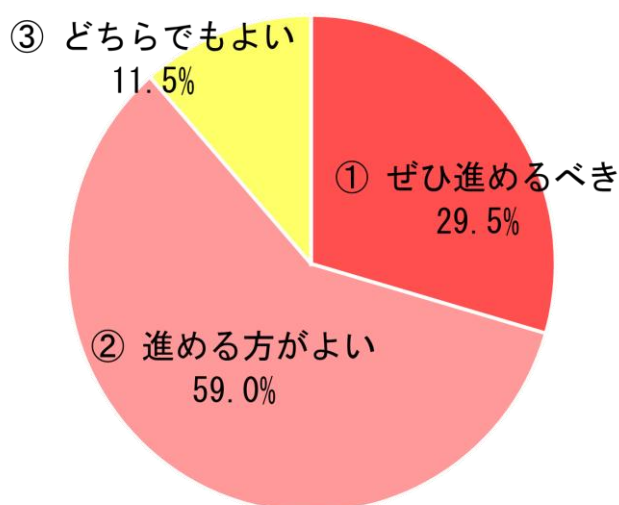
●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の88.5%が、「押沢台小学校においても学校の適正規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。

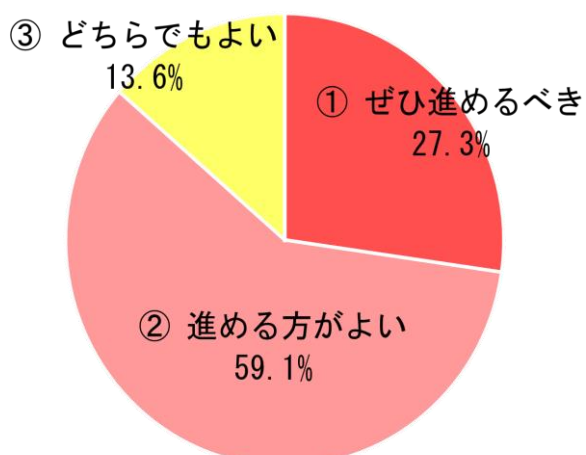
「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

6の質問で春日井市全体としての考え方には賛成するものの、本質問では「③ どちらでもよい」を11.5%の人が選択していることから、回答した全ての保護者のうち、押沢台小について取り組むことに賛成する方の割合は40.9%となっています。

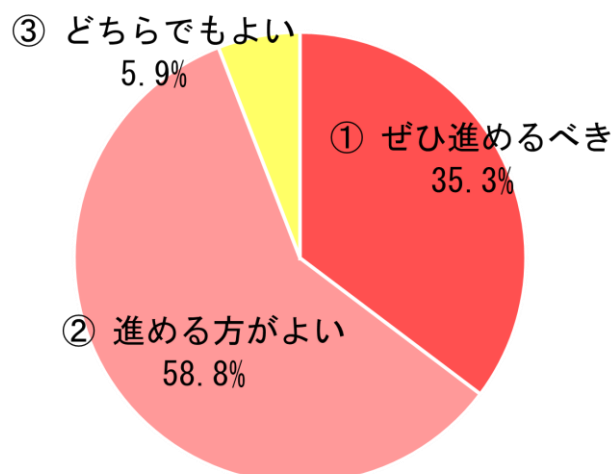
◆全体



◆就学



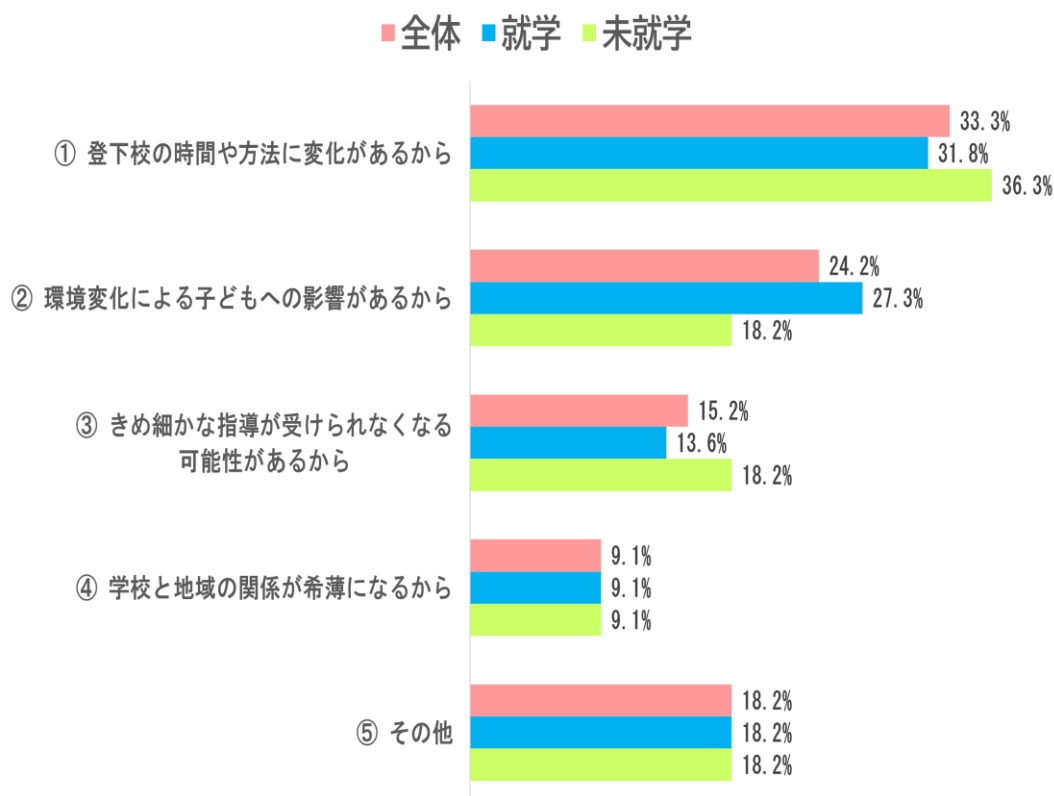
◆未就学



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で④又は⑤を選んだ33人のうち、11人が「① 登下校の時間や方法に変化があるから」を選択し、最も多くなっています。



「⑤ その他」の回答

◆就学児

- ・2クラスの人数(20×2)と(30×2)では随分と差が出てくると思うし、活躍出来る子は少人数でも活躍し、奥手な子や早生まれは変わらない。人数が増えれば増えるほど、見えない部分や取り残される部分が出てくると思うため、集団を大きくするだけがメリットでは無い様な気もするので。核家族化が進む中も押沢台は地域の方がとても学校を支えて下さっているの、そこは子ども達が成長する中でとても大切だと思っています。
- ・子ども自身が現況の学年一クラスに満足しており、友達と離れる可能性がある複数クラスにかなりの抵抗を示しているため。
- ・柄が悪い人が多い地区の子どもと同じ学校は絶対に反対。
- ・保護者として幼稚園を選択する時点で、小学校が1クラスしかないことを考慮して選んでおり、また学級数が増えることでのメリットは中学校で享受できると考えており、子どもにも小学校のうちは1学級であることを説明し、育て方にも反映させているつもりであるため。

◆未就学児

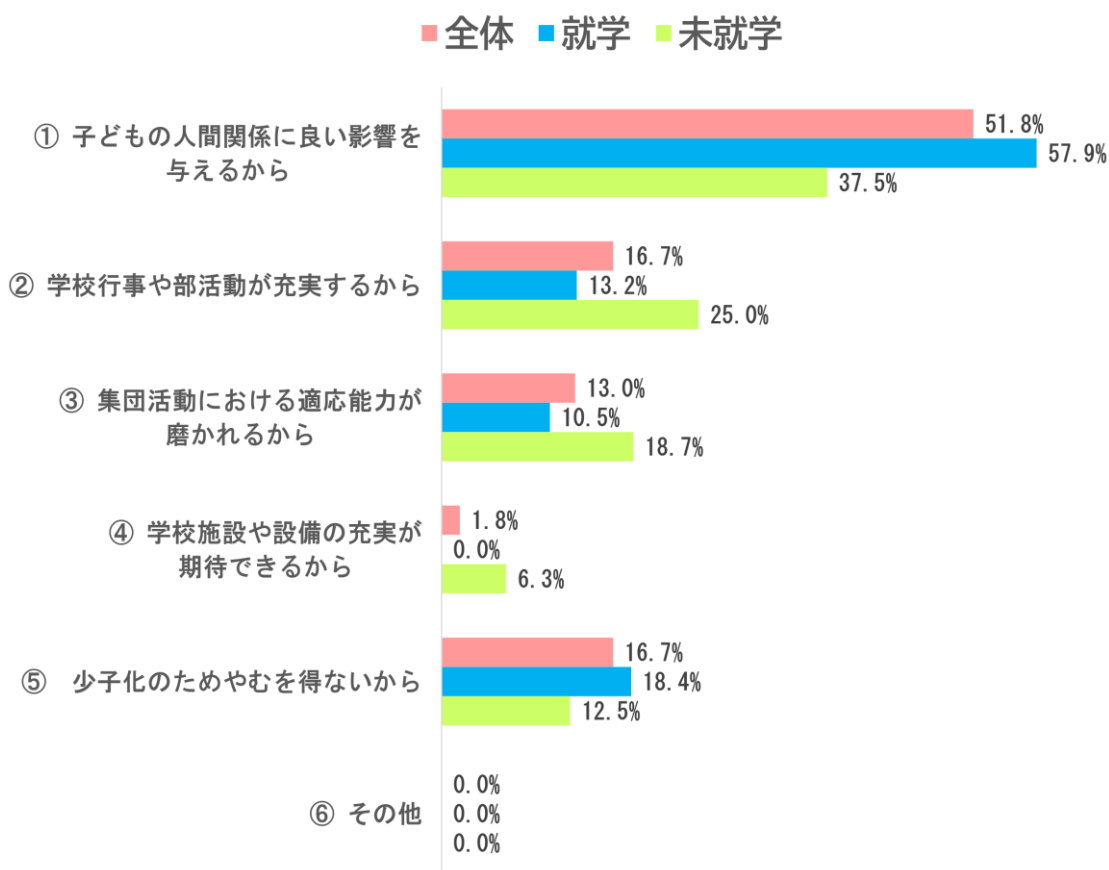
- ・小さい学校ならではの、先生と生徒の距離の近さ、地域の方たちとの関わりが密にあるなど良い点がたくさんあるから。
- ・防犯面が心配。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

選択項目①、次いで②、⑤（同値）の順で選ばれています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、①の割合が高く、③の割合が低くなっています。



7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方がいなかったため、回答者はいません。

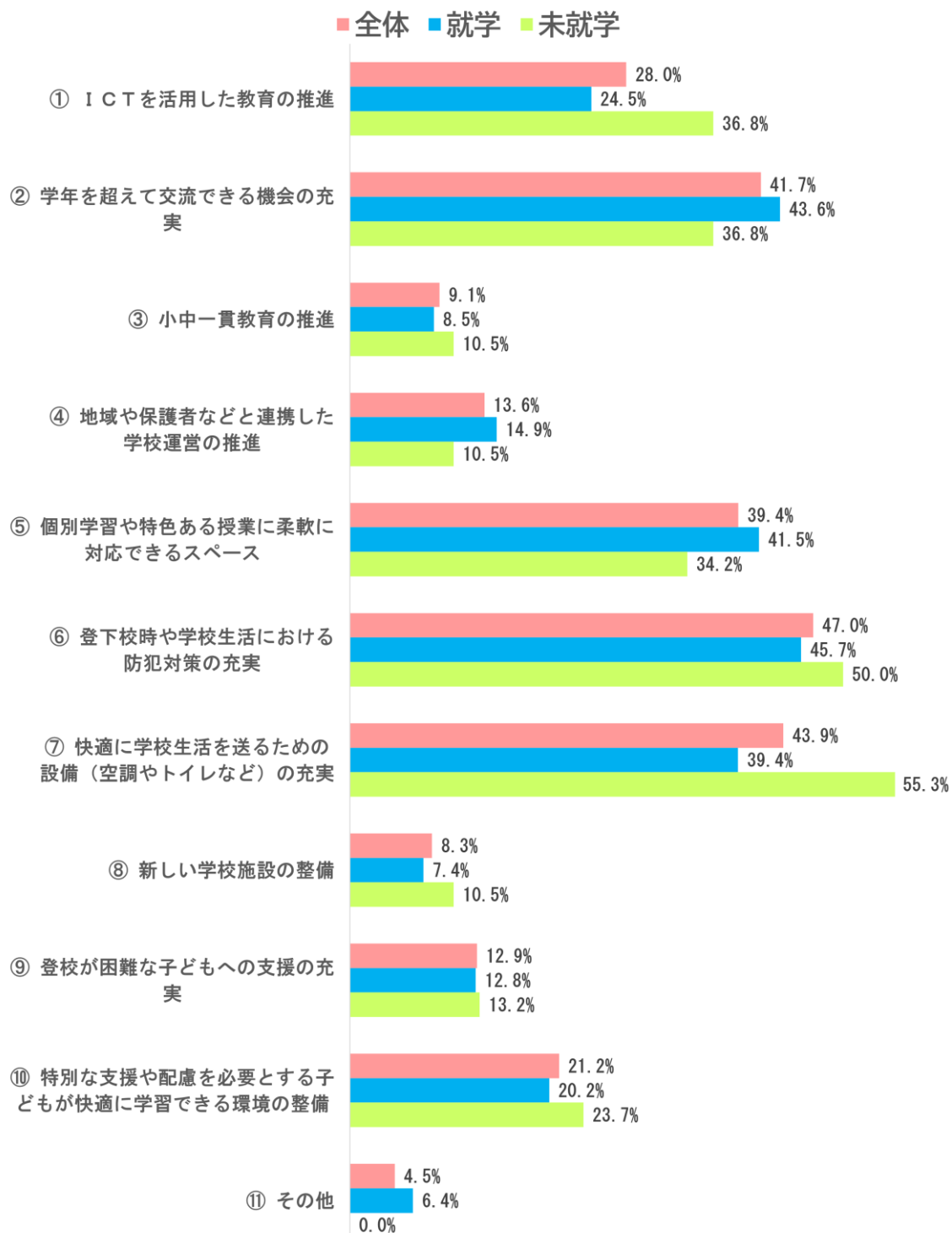
これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目⑥、⑦、②の順で選ばれています。

回答した保護者の多くが、子どもたちの安全安心のための防犯対策の充実、快適に学校生活を送るための設備の充実、別の学年の子と交流できる機会の充実をこれからの学校に期待しています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



9 「⑪ その他」の回答

◆就学児

- ・ハードソフト様々な面で多岐にわたる幅広い経験ができること。
- ・英語の授業の充実化、今後の世界経済を考え、英語をもっと身近に感じるようになると良いと思う。
- ・学力向上。
- ・個が伸ばせる環境。
- ・災害授業（震災等で使える知識を学ぶ授業）や DIY 授業（スウェーデン）外国姉妹都市等との交流 画面越しだけでは学べないリアル 生きる力を育める地域だと思うので、机上だけでは無い授業。
- ・自分が子供の頃と比べ、教育の現場においても物凄く過保護だと感じる。メンタルが弱く、思考力が乏しい子供が多い印象。事が起こる前段階で防衛するのではなく、痛い思いや嫌なことがあったとしても、子供自身に体験させたり実施させ、事が起こってから子供に対策を考えさせる柔軟性ある教育は出来ないのか……疑問に感じている。
- ・自由進度学習。学力高い子はどんどん進められる環境。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp